

<「自分の親は将来の自分」期：「親はウルサイけどアリガトウ」編－1>

対象(時間)：中学・高校生などの青少年(100分程度)

おぎゃーってスゴイ！ ～生まれてきた自分、やがて生まれてくる命～

【ねらい】卵を自分の子どもに見立て、命の大切さと、親として命に関わることの責任の重さを実感する。

【準備物】学習者：筆記用具

主催者：名札、ワークシート、アンケート用紙、フェルトペン(油性など卵に書けるもの)、パック入り生卵(人数分+α)、かご(保育所などに見立てる)、雑巾など(卵が割れた時の用意)

時間	アクティビティの展開	留意点	備考
：	○名札付け(来た順に)	○全員が名札をつける。(ニックネーム可)	※スケジュールを板書しておく。
：	○ファシリテーター(学習支援者)自己紹介、主旨・ルール等説明	○和やかな雰囲気づくりに配慮する。 ○写真を撮る場合は、予め了解を取る。(肖像権) ○三つの約束(発言の平等、人の発言を肯定、秘密の保守)、ただし、言いたくないことは発表しなくてもよい。(パス有り)	・机は講義形式
：	アイスブレイク(雰囲気づくり) 「あなたの誕生日は？」 ①言葉を交わさず、身振り手振りで誕生日情報をやりとりし、順番に並ぶ。 ②誕生日を口で言って、確認する。	○初対面の人同士の場合、自由に意見を出し合うためのウォーミングアップとする。 ○誕生日を確認することで、「生まれてきた自分」を感じてもらう。 ○同じクラスなど顔見知りの場合は割愛してもよい。時間があれば、親の誕生日なども。 ※数グループに分ける。(卵を回すため、1G10人程度がよい。)	・机を撤去 ・グループ数に応じて、机を配置
：	<やってみましょう> 「ここに卵があります。それはあなたの子供です。さあ、一つずつ卵を手にとってください」 ①卵を手で温める。 ②生まれた子どもにも名前をつける。 →ワークシートの記入 →グループ内で発表 ③かごに入れる。(全員) ④グループで二～三人、自分の卵をかごから出す。 ⑤みんなで輪になって卵を回す。 ⑥一周回ったらかごに戻す。 ※全員が済むまで④⑤を繰り返す。 ⑦最後はパックに戻す。 →ワークシートの記入 →グループ内で発表 ⑧P4上の文章(☆印)を読む	○卵を生まれてくる命と捉え、その大切さや危うさを実感してもらう。 ○割れないよう気をつける。(割れた場合のコメントや対応を考えておく。) →卵をパックから取ってもらう。 →手で温めながら、名前を考えてもらう。 →名前とその理由をワークシートに書いてもらう。(卵にも名前を書く。) →守秘、肯定、平等など約束の確認 →かごに「○○保育所(園)」などと書いておくとよい。 →歌いながら、左手で受けて、右手で右隣の人に送る。 →短ければ、歌に合わせて何周でも回してよい。 →グループを外し、全員で一つの輪になって回してもよい。	
：	<学習を振り返りましょう>P4 ○ワークシートへの記入 →グループ内で発表 →フリートーク ○グループごとに発表 ○ファシリテーターの話	○疑似体験をとおして感じたことを交流し、「親になる自分」を想像してもらう。	
：	○終了・片付け ○アンケート記入	→参加者全員で行う。 →アンケート記入者から流れ解散	・現状復帰
〈メモ〉			